

2 水産業の成長産業化

(1) 東京湾漁業の振興

資料 3-4

《取組のポイント》

- 1 アサリ漁業における稚貝の保護対策**
 - ・アサリ稚貝を囲い網で保護することで、食害等による秋冬季の減耗を防ぎ、漁獲サイズまで成長させる。
- 2 ノリ養殖におけるクロダイの食害対策**
 - ・ノリ養殖施設の周囲を防除ネットで覆うことでクロダイによる食害を防除するとともに、クロダイの効果的・効率的な漁獲手法を検討する。

【背景】アサリ漁業及びノリ養殖の低迷原因

- アサリ漁業は、近年、漁獲量が低迷しているが、その原因は、魚類及び鳥類の食害等による秋冬季の減耗の影響が大きい。
- ノリ養殖業は、平成 27 年漁期以降、著しい不作となったが、その原因は、クロダイによる食害の影響が大きい。

〈取組の内容〉

《これまでの取組》

- 1 アサリ漁業における稚貝の保護対策**
 - (1) 囲い網の設置経費への支援（令和元年度～）**
アサリ稚貝の保護対策の一つとして、囲い網の有効性が確認されたことから、漁協が設置する囲い網の資材購入経費を支援している。
→木更津地区で漁獲量が増加（R2：11 トン、R3：140 トン、R4：88 トン）
 - (2) 囲い網の効果把握と効果的な設置手法の検討（令和4年度～）**
囲い網の効果の持続性などを検証するとともに、増産効果を高める効果的な設置手法を検討している。
 - (3) 囲い網の普及推進（令和4年度～）**
木更津地区における囲い網の効果をも未導入の地区に説明するなど、囲い網の普及を推進している。→富津地区で囲い網が導入（R4.11月～R5.8月：35 トン） ※4年ぶりの水揚げ
- 2 ノリ養殖におけるクロダイの食害対策**
 - (1) 省力型防除ネットの開発（令和2年度）**
クロダイの食害を防ぐ従来型の防除ネットは、設置・撤去等の作業面で漁業者の大きな負担となっていたことから、より管理が容易な「省力型防除ネット」を開発した。
 - (2) 省力型防除ネットの導入支援（令和3年度～）**
漁業者が行う食害対策を推進するため、省力型防除ネットの導入経費を支援している。
→1経営体当たりの生産枚数が増加（R2：587 千枚、R3：1,006 千枚、R4：791 千枚）
 - (3) 新たな食害対策技術の開発（令和4年度～）**
防除ネットの隙間からのクロダイの侵入を防ぐため、光などを活用した新たな食害防除技術の開発を進めている。
 - (4) クロダイの効果的・効率的な漁獲手法の検討（令和3年度～）**
クロダイを効果的・効率的に漁獲するため、超音波発信機を装着したクロダイの行動を追跡して蛸集する時期や場所を把握するとともに、最適な漁具・漁法を検討している。

《今後の取組》

- 1 アサリ漁業における稚貝の保護対策**
 - ・囲い網の効果の持続性などを検証するとともに、より効果的な設置手法の開発を進める。
- 2 ノリ養殖におけるクロダイの食害対策**
 - ・省力型防除ネットの効果をも万全なものとするため、光などを活用した新たな食害防除技術を開発する。
 - ・クロダイを効果的に漁獲できる時期・場所や漁具・漁法を引き続き検討する。

〈事業イメージ〉

1 アサリ漁業における稚貝の保護対策



2 ノリ養殖におけるクロダイの食害対策

